

## 令和5年度 第1回北栄町環境審議会議事録（概要版）

- 1 日 時 令和5年7月8日（土）午後2時00分～4時00分
- 2 場 所 大栄農村環境改善センター 大会議室
- 3 出席者 委 員 別紙委員名簿のとおり  
事務局 環境エネルギー課 杉本課長、岩本室長、三谷室長、手嶋主幹
- 4 日程及び内容
  1. 開会  
上榎会長 あいさつ  
出席者確認：過半数以上参加で会の成立  
出席者自己紹介（環境審議会、環境 CF0）  
欠席者の報告
  2. 議事
    - （1）副会長の選出について  
副会長：大野木昭夫氏に決定  
立候補が無かったので、事務局から大野木氏を推薦
    - （2）環境 CF0 について  
資料1，2に沿って環境審議会、環境 CF0 の活動内容等について説明
    - （3）北栄町脱炭素ロードマップについて  
資料3，5に沿って内容説明
    - （4）今年度のスケジュール（案）について  
資料4に沿って内容説明
    - （5）その他  
特になし
  3. その他  
特になし
  4. 閉会

（裏面へ続く）

議事録（概要版）

議事（3）北栄町脱炭素ロードマップについて（脱炭素ロードマップ町民アンケート結果）	
委員	資料5のアンケートについて確認。こういった年代が回答していないか？回答していない年代を中心に環境等の周知をしていく必要があると思う。回答していない人を巻き込んでいけるようにするなど情報発信が大切。
事務局	基本的には年代、性別を同じような割合によりアンケート（1-2参照）しているので、30～40代の回答が少ないと思われる。自身の仕事や子育て等が忙しい年代でアンケートに答える余裕がないのかもしれない。
委員	アンケートの分析結果などがあればよいが。結果は重要。活かす必要がある。
事務局	町HPでアンケート結果、昨年10月の町報で分析等を周知している。ご確認をお願いしたい。
委員	アンケート3-4、北栄町が気候非常事態宣言を表明し、2050年までに脱炭素社会を目指し取り組んでいることを知らない人が82%もいる。こういった人に知っていただく必要がある。どう発信していくか、目標達成の道しるべが必要と思われる。
事務局	積極的に情報発信や活用していく。
委員	アンケート4-5、太陽光発電への個別意見の一つに、設備の土壌への影響により、災害時に復興の妨げになるとあり、太陽光を設置することを考えても、耐用年数が経過した後の処理方法等が不明で、積極的な設置が進まない可能性がある。処理方法等についても情報発信してほしい。
委員	自分も環境のことを考え、太陽光発電を設置している。現在、太陽光の再利用について盛んに研究が進んできている。
事務局	太陽光パネルについては、法改正で事前に処理費を積み立てることになった。その費用で処理は適正に行われる予定。また、町内にある鳥取県再資源化研究所では、太陽光パネルガラスを無害化し多孔質ガラス発泡材などに再利用するなど、適正に処理している業者もある。 一方、一部の事業者による太陽光パネルの不適切な処理もあり、不安が広がっているのではないかと。
委員	脱炭素ロードマップの中で太陽光発電の設置、省エネ等にも触れられているが、増やしていくための情報発信やPRが必要。また、行政による補助金等の助成も必要になってくると思うので、そういったところも検討してもらいたい。
事務局	補助金等を総合的に検討していく。
その他	
委員	環境CF0等の開催は、できるだけ対面で行った方がよい。現在はWEB会議もあるが、やはり顔をあわせて話をした方が、気持ち伝わりやすい。
事務局	対面も重要。環境CF0の都合にもよるが、内容にあった形で対面、リモートなどを組み合わせる。
委員	次回の環境審議会はいつか？
事務局	地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の素案が12月ごろに完成予定なので、その時期に行いたい。